

RYOBI

振動プレート

GSP-450・GSP-600A・GSP-700A・GSP-800
取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。



GSP-600A

目 次

1) 仕 様	2 ~ 3
2) 運転前の準備点検	4
3) エンジンの始動	4
4) 本体の運転	4
5) アスファルトの転圧	4
6) 本体及びエンジンの停止	4
7) 点検と整備	4 ~ 5
7-1 毎日の手入れ	4 ~ 5
7-2 起振装置の点検要領	5 ~ 6
7-3 Vベルトの調節	7
8) GSP-450部品表	8
9) GSP-600A部品表	9
10) GSP-700A部品表	10
11) GSP-800部品表	11
◎注意事項	12

1) 仕様

GSP-450型

型	式	GSP-450型
自	重	41kg
全	高	900mm
全	長	830mm
振動板 (幅×長)		290mm×400mm
エンジン出力		1.4~2.0PS
エンジン型式		ロビンEY-08D (4サイクル)
使用燃料		自動車用ガソリン
振動数		4,300cpm
前進速度		17m/分
締固力		4.5トンローラーに相当

GSP-600A型

型	式	GSP-600A型
自	重	60kg
全	高	850mm
全	長	860mm
振動板 (幅×長)		350mm×510mm
エンジン出力		2.7~3.5PS
エンジン型式		ロビンEY-15D (4サイクル)
使用燃料		自動車用ガソリン
振動数		5,800cpm
前進速度		24~26m/分
締固力		6トンローラーに相当

GSP-700A型

型	式	GSP-700A型
自	重	67kg
全	高	800mm
全	長	980mm
振動板(幅×長)		400mm×520mm
エンジン出力		2.7~3.5PS
エンジン型式		ロビンEY-15D(4サイクル)
使用燃料		自動車用ガソリン
振動数		5,800cpm
前進速度		25~27m/分
締固力		6~8トンローラーに相当

GSP-800型

型	式	GSP-800型
自	重	80kg
全	高	850mm
全	長	1150mm
振動板(幅×長)		400mm×600mm
エンジン出力		3.5~5PS
エンジン型式		ロビンEY-20D(4サイクル)
使用燃料		自動車用ガソリン
振動数		6,400cpm
前進速度		20~25m/分
締固力		7~8トンローラーに相当

2) 運転前の準備点検

機体各部のボルトナットに緩みがないかを確認、緩んでいる場合には完全に締付けて下さい。

3) エンジンの始動

工具箱の中にエンジン取扱説明書が入っているので熟読して下さい。特に注意して戴きたいのは、使用燃料の種類、オイルの注油です。

4) 本体の運転

スロットルレバーを高速の位置にしますと、エンジンの回転が高速となり、Vベルトを介して起振体を動かし振動と共に前進を始めます。

5) アスファルトの転圧

アスファルトを転圧する場合は振動板の裏面にアスファルトが付着しますが、これを防ぐには路面に重油を浸ませたダンボール、又はむしろを置き、その上に振動プレートを通過させるか、又は振動プレートの振動板の裏側に重油を塗って下さい。

6) 本体及びエンジンの停止

スロットルレバーを低速の位置にするとエンジン回転が下がります。ガソリンエンジンの場合にはストップボタンをエンジンが停止するまで押して下さい。すぐ使用しない時、又は運搬する時には、燃料コックを必ず閉じて下さい。

7) 点検と整備

7-1 毎日の手入れ

機体各部のボルトナットに緩みがないか確かめ、緩んでいる場合には完全に締付けて下さい。

(1) エンジンのオイル交換

オイル交換口ふたつについている検油棒を見て油面を調べ、上下刻線の中程以下になっている場合は補給する。

(オイルはタービン油#30)

(2) エアークリーナー (10～30時間毎の手入れ)

エレメントが汚れたり目詰りをしますので取り外して、ガソリンで洗い
車を切ってから、ガソリン2～4：モーター油1の割合の混合油に浸し、
スポンジ・エレメントは固く絞り、不織布エレメントは振り切って取り付
けます。

7-2 超振装置の点検要領

(1) GSP-450

起振体ケース内にグリースを注入してある為、無給油方式です。

(2) GSP-600A (第1図参照)

本機を平らな場所に置き、起振体ケースの正面左側についている検油キ
ャップ (フランジボルト) を外し、潤滑油の量を確認し、不足している場
合は補充して下さい。

(3) GSP-700A (第2図参照)

本機を平らな場所に置き、振動板カバー前部のゴムキャップを外し、起
振体ケースに取付けてある検油棒を外し、潤滑油の量を確認し、不足して
いる場所は補充して下さい。

(4) GSP-800 (第1図参照)

本機を平らな場所に置き、起振体ケースのVプーリーの反対側について
いる検油キャップ (六角ボルト) を外し、潤滑油の量を確認し、不足して
いる場所は補充して下さい。

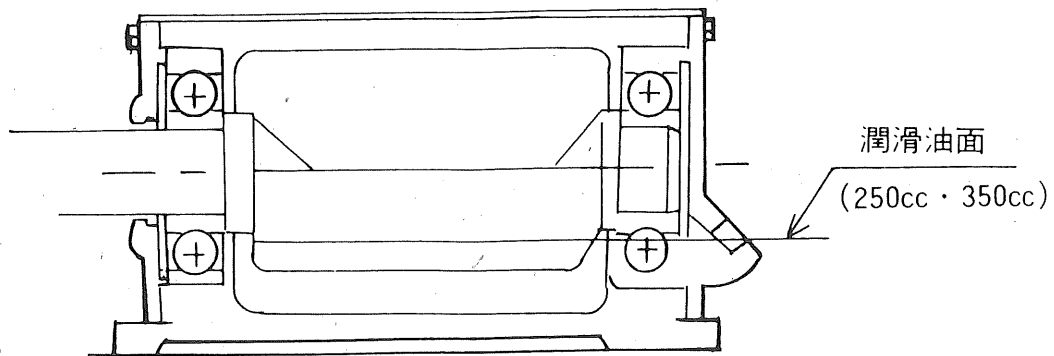
起振体ケース内潤滑油量は下記の通り入っており、通常使用で約1年間使用
できます。

尚、使用オイルは出光興産製「タービン#32」又は同等以上の物を使用して
下さい。

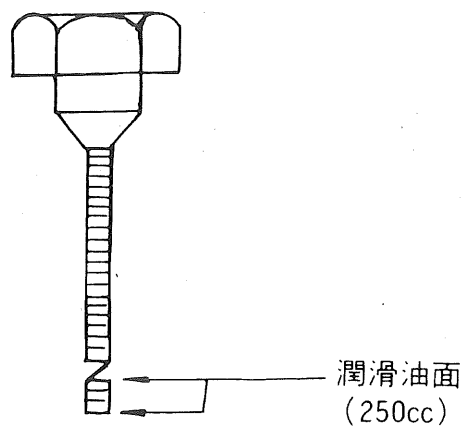
油量は、

- GSP-450.....グリース
- GSP-600A.....250cc
- GSP-700A.....250cc
- GSP-800.....350cc

第1図



第2図



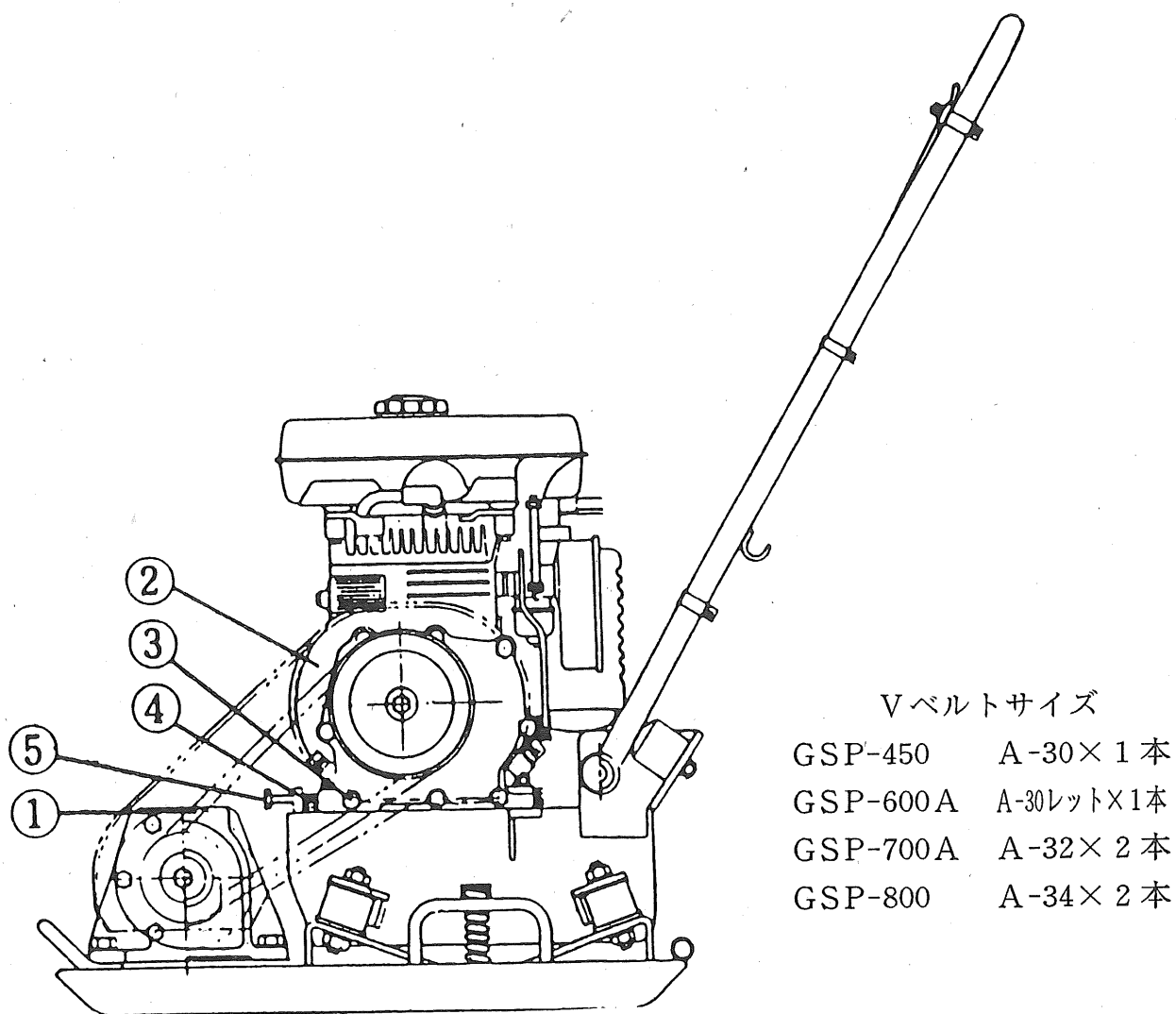
7-3 Vベルトの調節 (第3図参照)

Vベルト①が伸びてスリップしている場合には、ベルトカバー②を取外しエンジン取付ボルト③を4ヶ所同時に緩める、テンションボルト⑤のロックナット④を緩める、両軸に張ってあるVベルトの中間を指で押し (約2kg) 5mm~7mmへこむ程にテンションボルト⑤を締め込み調節して下さい。

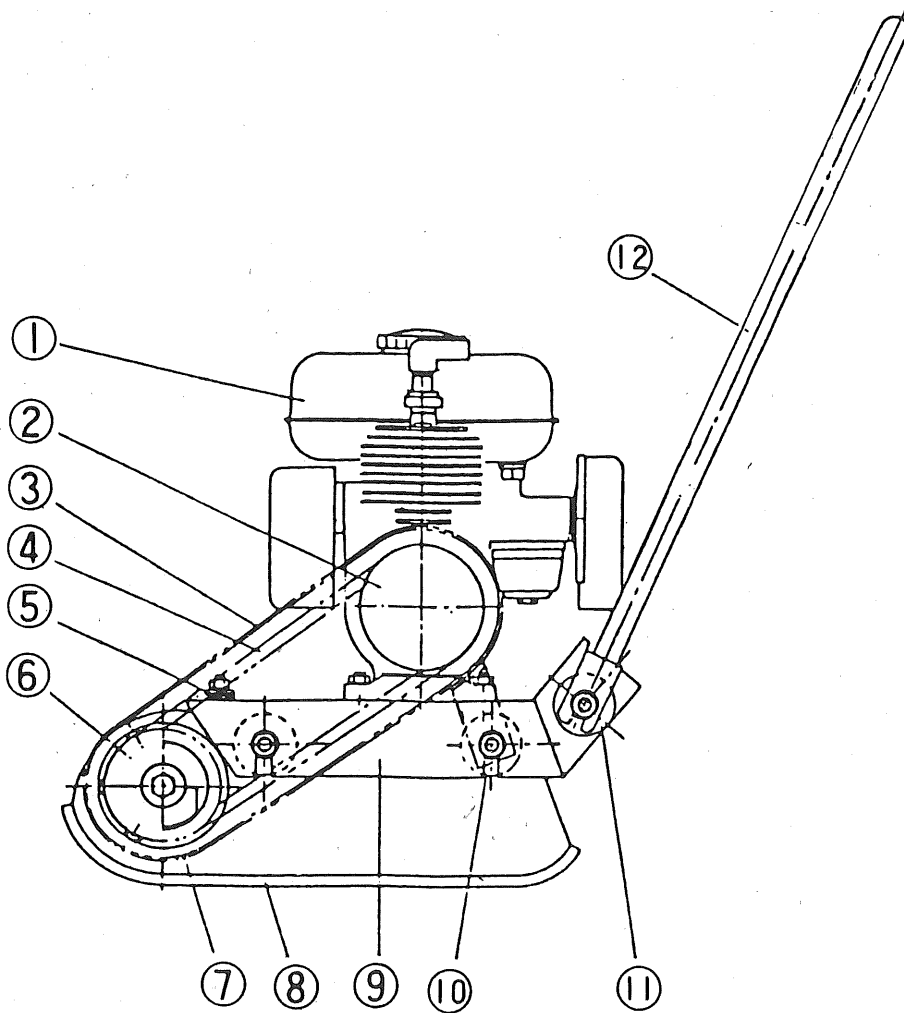
尚、GST-600A型は、特殊ベルトを使用してありますが、交換の際には市販のVベルトも使用できます。

注 ベルト調節は、あまり張り過ぎないように注意して下さい。

第3図

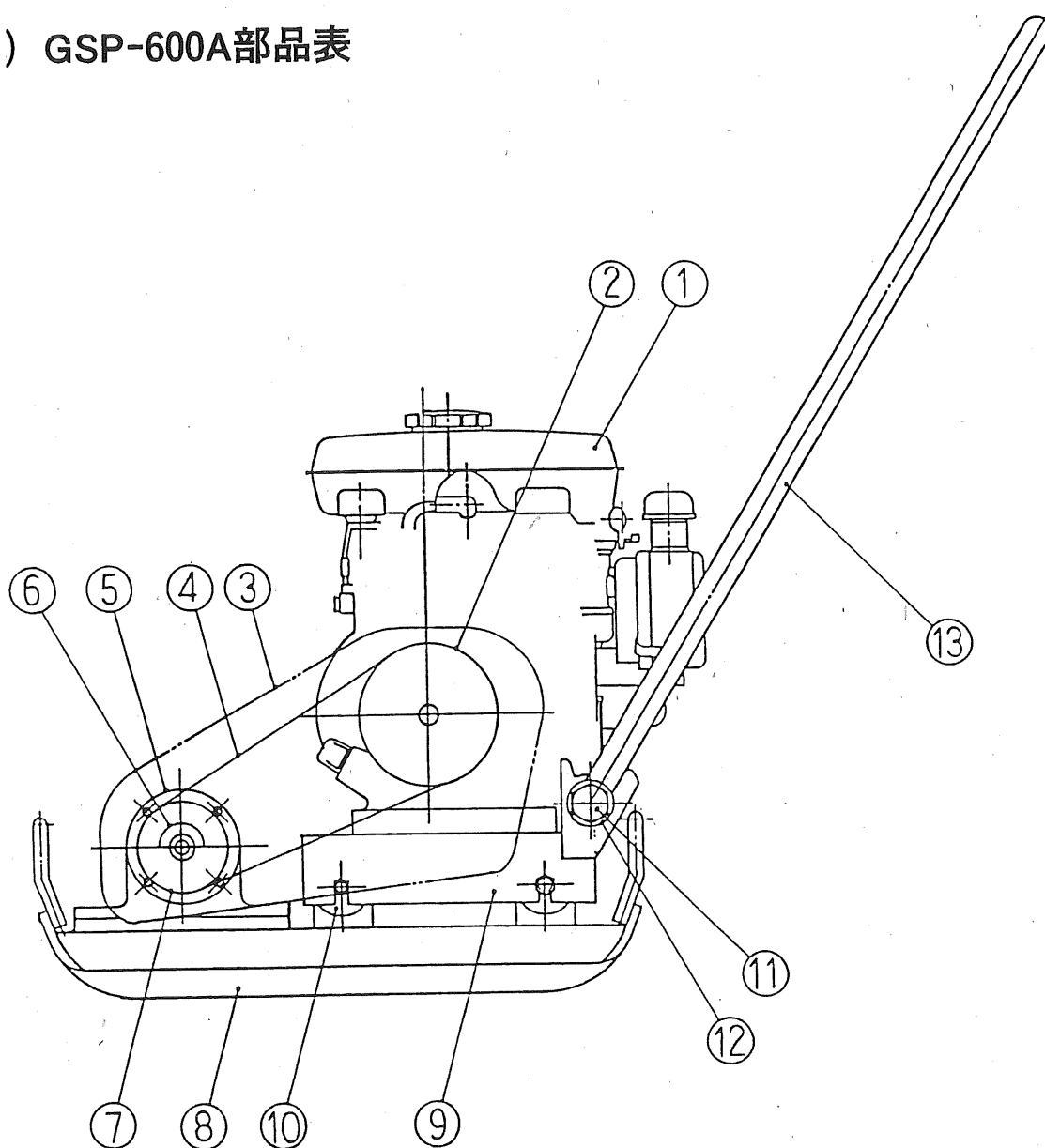


8) GSP-450部品表



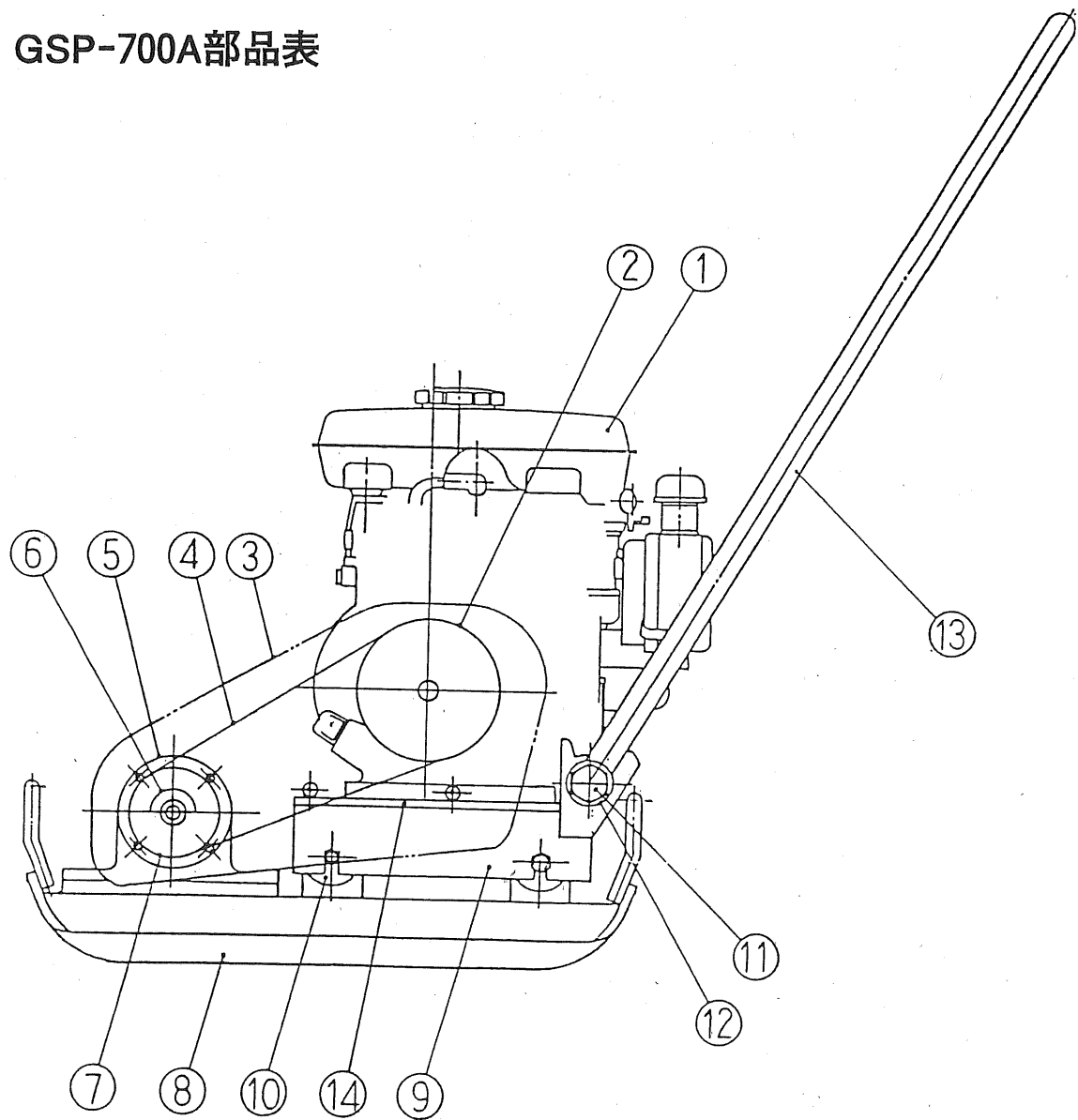
- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1 エンジン | 6 Vプーリー | 11 防振ゴム |
| 2 遠心クラッチ | 7 起振体 | 12 ハンドル |
| 3 ベルトカバー | 8 振動板 | |
| 4 Vベルト | 9 振動板カバー | |
| 5 ベルト調整板 | 10 防振ゴム | |

9) GSP-600A部品表



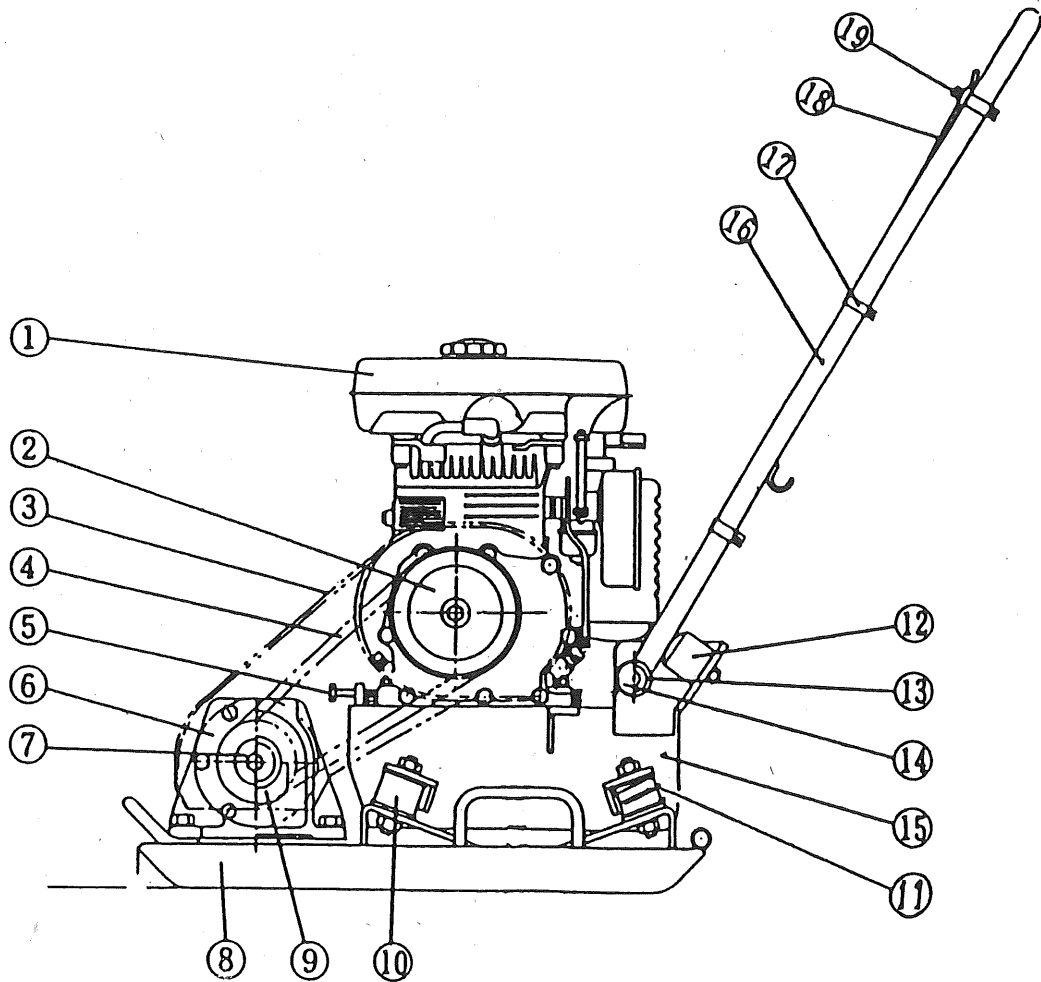
- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1 エンジン | 6 起振体 | 11 ブラケットピン |
| 2 遠心クラッチ | 7 Vプーリー | 12 防振ゴム |
| 3 ベルトカバー | 8 振動板 | 13 ハンドル |
| 4 ベルト | 9 振動板カバー | |
| 5 起振体ケース | 10 防振ゴム | |

10) GSP-700A部品表



- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1 エンジン | 6 起振体 | 11 ブラケットピン |
| 2 遠心クラッチ | 7 Vプーリー | 12 防振ゴム |
| 3 ベルトカバー | 8 振動板 | 13 ハンドル |
| 4 ベルト | 9 振動板カバー | 14 エンジン台 |
| 5 起振体ケース | 10 防振ゴム | |

11) GSP-800部品表



- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1 エンジン | 8 振動板 | 15 振動板カバー |
| 2 遠心クラッチ | 9 起振体 | 16 ハンドル |
| 3 ベルトカバー | 10 防振ゴム | 17 ワイヤーハンド |
| 4 Vベルト | 11 スプリング | 18 スロットルワイヤー |
| 5 テンションボルト | 12 防振ゴム | 19 スロットルレバー |
| 6 起振体ケース | 13 ゴールドラバー | |
| 7 Vプーリー | 14 ブラケットピン | |

◎注意事項

本機の積みおろし、搬送の際は横倒し又は 45° 以上傾斜させると起振装置内のオイルが流出し故障につながりますので注意して下さい。

検査合格証

- この製品は、一貫した品質管理の基に組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。

検 査

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い
上ご不明の点があった場合にはご遠慮な
く全国各地のリョービ電動工具販売店、
リョービ販売各営業所にお問い合わせ下さ
い。

※改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元



リョービ販売 株式
会社